



東京赤坂ロータリークラブ
Weekly Report

2012~2013年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1134 / 2013. 02. 01

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

●本日の例会/ 2013年 2月 1日 第1241回
卓話: ピアニスト 泉晶子氏による
ピアノコンサート

●前回報告/2013年 1月 25日 第1240回例会
夜間例会・レディースデイ

卓話: 「男の論理・女の論理」
公益財団法人 大宅壮一文庫 理事長
評論家 大宅 映子 氏



卓話紹介:
岩上プログラム委員長

会長報告

①1月22日千代田グループ会長幹事会の報告
②2月1日(金)例会で、新会員 菅沼生喜氏の入会式を予定しております。

幹事報告

2月5日(火)に火曜会を開催いたします。テーマは「クラブの活性化について考える」です。多数のご参加をお待ちしております。

出席報告: 会員 39名/出席 16・欠席 22名
ゲスト: 大宅映子(卓話)、川路利永、川路ひろみ、遠竹佳美、水木和美、岡村生枝、大谷恵子
御家族: 石井喜子、岩上曜子、尾関文代、高須貴久代
ビジター: 岡田敏江(中央新RC)、辻喜代子(中央新RC) 上野由美(中央新RC)
計 14名 (順不同・敬称略)

●次回予告/ 2013年 2月 8日(金) 第1242例会
卓話:「職業奉仕について」
地区職業奉仕委員長 日野 正紀 氏
(東京山の手RC)

2月行事予定

1日(金)	第1241回例会	
	卓話: ピアニスト 泉晶子氏による ピアノコンサート	
	定例理事会	13:40~15:00
5日(火)	火曜会	18:30~
	ANA インターコンチネンタルホテル東京 ミックス&バーラウンジ	
7日(木)	RLI パートII	10:00 ~18:10
	国立オリンピック記念青少年総合 センター センター棟 401号室	
8日(金)	第1242回例会	12:30~13:30
	卓話:「職業奉仕について」 地区職業奉仕委員長 日野正紀 氏	
15日(金)	第1243回例会	
	卓話:「最近の中国、東南アジアの ビジネス環境」 三菱UFJ技術育成財団 元常務理事兼 事務局長 末繁英雄 氏	
21日(木)	第3回クラブ会長・幹事会	
	ザ・プリンスパークタワー 14:30~	
	RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 18:00~	
22日(金)	RI第2750地区 地区大会	9:00~
	ザ・プリンスパークタワー東京	

※2月22日(金)は、ホテルでの例会はございません。

1月 25日(金) / 7件 13,000円

累計 691,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

尾関武男/大宅先生、本日の卓話楽しみにしておりました。会員の奥様方、そして中央新RCの皆様、更にゲストの皆様ようこそお越しくださいました。西澤民夫/大宅先生、本日は楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。高須康有/大宅先生、本日は大変楽しみにしております。田村昭二/大宅先生、本日の卓話よろしくお願ひいたします。石井謙次/レディースデイを祝して。小林博茂/大宅先生、卓話楽しみです。ゲストの皆様ようこそおいで下さいました。ニコニコ発表は穂苅さん。何故か久し振りに私ではありません。穂苅さんありがとうございます。穂苅裕久/奥さま方、ようこそいらっしゃいました。本日もたくさんの方にニコニコありがとうございました。



Member's Voice

めんぼう NO94
庄司 泰典

もう1つの日本史（明治維新前後）

日本史については教科書には書かれていない裏の事実がかなりあると言われています。ここでは明治維新前夜の教科書には書かれていない事実について記してみたいと思います。読み易いように箇条書き、で要点のみをまとめてみました。

①教科書の記述では天皇をかついた開明派が、徳川幕府を圧倒したなどと、あっさり片付けられています。

②当時京都にいた革命勢力は精々6千人。そのうち実際に戦闘に参加した数はたった15百人と言われています。それに引き替え、幕府は全国に21万人を超える軍勢を抱えており、京都には15千人の武士がいました。

③ならばなぜ将軍徳川慶喜は、一言の号令も發せずに、大坂から江戸に逃げ去ったのか？この理由については⑦と⑧に記してあります。

④革命派の背後には、世界最強と言われたイギリスがいたのが大きな勝因だと言われています。特に英國総領事館付通訳アーネスト・メーソン・サトウの存在が大きかったと言われています。

⑤青白き英國青年、アーネスト・メーソン・サトウは日本語通訳の第一人者だが、それは表の顔であり、実態は凄腕の英國諜報スパイ部員であった。英國は機を見て、日本の植民地化を狙っていました。

⑥日本領事館通訳に任命されたサトウは、19歳の若さで日本に上陸した。1862年9月8日のことである。それからの活躍はめざましく翌年の薩英戦争、そし

て次の年の下関戦争後、サトウは「ご一新」まで薩摩・長州藩との間で絶え間ない革命工作活動に明け暮れる。サトウは薩摩藩の黒田清隆と接触し親交を深めた。これで「ご一新」は最終工作に入る。黒田との折衝記録は、サトウの日記に残っています。日記によると「大名側（革命軍）は一致団結しており・更に多くの西国や北国の大名が、自分達の側につくものと期待していると黒田が語った。」「もし戦争をせざるをえないと判断しているなら、ただちに戦争を始めた方が良い。黒田もこれに同意した。」と記されています。

⑦英國は艦隊を大阪湾に移動配備し、大阪城にいる徳川慶喜に大きなプレッシャーを掛け続けたのである。旗艦ロドニー号、スナップ号、ラットラー号、マニラ号、オーシャン号、バジリスク号以下6隻その数合計12隻である。これらが攻撃態勢に入っていた。

⑧当時大阪城から大阪湾は丸見えであった。これらの軍艦を見た慶喜は恐怖の余り、夜陰に紛れて大坂城を転げるように江戸に向かって逃げたのである。逃げた船は、驚くなれ米国艦イロクオイ号であった。慶喜は明治になって「港に行くと真っ暗で幕府の船が見つからなかった。たまたまそこに米国艦がいた。それで乗せてもらつただけだ。」と弁解している。

⑨戊辰戦争が始まると、英國は薩・長・土・肥を中心とする革命軍に対し最新式の武器と兵器の供与及び軍資金の援助を行った。会津戦争で会津藩が敗北した最大の原因は革命軍が従来の日本にはなかった最新式の兵器を保持していた為であった。

参考文献 加治将一著「幕末 維新の暗号」（祥伝社）